

体育科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
○運動に対する学習意欲が向上し、主体的に活動しようとしている。
- (2) 課題
○運動技能の二極化

2 観点ごとの実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びを楽しんで行う児童が多い。 まっすぐに走ることができる児童が多い。 固定遊具やボールなどを使う遊びは、個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ボールや固定遊具、縄跳びを使う遊びは、技能の差が大きい。 鬼遊びなど、体全体を使う遊びが好きな児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 鬼遊びを楽しんで行う児童が多い。 走る力については個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ボールを投げること、走る力において個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全についての知識はあるが、実践する児童が少ない。 器械運動が苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 病気の予防についての知識はあるが、生活習慣が乱れている児童がいる。 器械運動やボール運動の個人差が大きい。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの工夫を考えたり、それを友達に伝えたりすることは、個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の動きを見て、友達の動きを真似しようとしている。 動きを工夫し、楽しい遊び方を友達に伝えることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達とアドバイスし合いながら運動ができる。 自分たちで動きやルールを工夫して運動をしている児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームのルールを工夫したり、ボール操作を工夫したりして取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> チームで取り組む学習において、勝敗を受け入れたり作戦を考えたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習方法や作戦を考えて運動している児童とそうでない児童の差が大きい。 教え合う良さを実感し始めた児童も多い。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> どの運動遊びも意欲的に取り組んでいる。 安全に気を付けて運動を行う意識が低い児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲よく体を動かし、すすんで運動に取り組んでいる児童が多い。 苦手な運動に対してもすすんで行き、意欲がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動に対する意欲が高い。 勝ち負けにこだわってしまい、協力して運動ができない場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に体を動かすが、約束や決まりをまもる意識には個人差が見られる。 友達に声を掛けたり、応援したりする雰囲気がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な分野の運動には消極的な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことが好きな児童が多いが、苦手な分野の運動には消極的な児童がいる。

3 課題と授業の改善策

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ボールなど用具操作を身に付けること。(投力) 固定遊具の運動遊びを通して器械運動の学習につながる基本的な動きや技能を身に付けること。 前を見て全力で走ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具を操作する動きを身に付けること。 多様な動きをつくる運動遊びを通して、様々な基本的な体の動きを身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 走力、持久力を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動を日常化し、体力や技能の向上を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力を向上させ、基礎的な技能を身に付けること。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 友達と関わりながら運動遊びをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 動きを工夫し、自分達で新しい動きや遊びを考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考を働かせながら運動に取り組めるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を意識すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームの勝敗だけにこだわらず、自分やチームの課題を考えながら活動に取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分やチームの課題を捉え、練習方法や作戦を考え実践すること。 考えて運動すること。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけて運動遊びに取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に運動遊びができるよう、友達とかかわりをもたせたり、めあてを達成させたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 勝ち負けにこだわり過ぎず、協力して運動に取り組めるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全のきまりに対する意識を高めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 得手、不得手にかかわらず、自分に合っためあてを設定し、すすんで運動できるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてをもち、誰とでも協力して安全に運動すること。

	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 鬼遊びや固定遊具での運動遊びなど、用具操作の時間を多く取り入れる。 全力で走る機会をつくっていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 用具操作の時間を取る。 多様な動きをつくる運動遊びの活動から、毎時間少しずつ取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時間以外にも取り組めるような走る運動や、持久力を高める運動を体育の時間に紹介し行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩時間等でもできる動きを取り入れるなど、授業以外でも取り組める動きを提示していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題別に練習の場を設定したり、基本的な技能のポイントを示した資料や動画を活用したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能のポイントを明確にした資料や動画を活用すること。 主運動に合わせた予備的な運動を帯で取り入れる。
授業の改善策	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 関わる必要性のあるルールをつくったり、自分の考えを伝えたり相談したりしたくなるような場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻め方や守り方など、例を示し選べるようにする。 友達のよい動きを共有する時間を設定し広めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内でアドバイスをしながら運動する習慣をつける。 学習カードを工夫し、学んだことを記録して考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてを確認し、何を意識した活動なのかを理解させて取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や作戦を考えることができるよう、学習カードやタブレットを活用したり、振り返りの時間を設けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の課題やチームの作戦について考えられるよう、学習カードやタブレットを活用する。 グループやチームで協働的に学習に取り組めるような工夫をする。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間声を掛けるとともに、安全な場の設定を通して、どういったことが安全につながるのかを理解させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な運動遊びや称賛をするなど肯定的な働きかけをする。 用具の準備や片付け、場の設定を工夫することで、友達と一緒に運動遊びをする楽しさに触れることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 勝ち負けのある運動を多く経験させ、協力する気持ちを育てる。 様々なゲームの中で、協力して運動する楽しさを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に取り組めている児童を称賛するなどして、安全に対する意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを設けることで、自身の成長を実感させ、苦手な分野であってもすすんで運動に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業や外遊びを通して仲間と共に体を動かすことの楽しさを実感させ、運動の日常化につなげる。 スモールステップの段階を示し、自身の成長を実感させる機会を多く設ける。